

令和7年度4月期

東京海洋大学入学式における学長式辞（4月7日）

海洋生命科学部、海洋工学部、海洋資源環境学部、そして海洋科学専攻科、大学院海洋科学技術研究科に入学・進学された皆さん、また、実習航海中あるいは出港準備中で欠席の乗船実習科進学の皆さん、本日は誠にありがとうございます。

また、本日、ご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜りました一般社団法人 楽水会 会長 松本 和明 様、一般社団法人 海洋会 会長 関根 博 様には厚く御礼申し上げます。

さて、新入生・進学生の皆さんは、本日、東京海洋大学の学生として新たな学びのスタートをきることになりました。充実したキャンパスライフを送るために、一日も早く本学での生活に慣れて欲しいと思います。

本学では、「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、独創的かつ実学重視の教育カリキュラムを提供しています。学内の実験施設や、5つのステーション、そして3隻の大型練習船で行われる各種実習では、実際の環境において、実物を触って、自分の目で確かめ、自ら考えながら課題に取り組むことができます。皆さんは、初めて経験することに戸惑ったり、不安を感じたりするかもしれませんが、キャンパス地区で学んだ学術的な概念や理論と、体を動かして学んだことが頭の中で融合し、体系的に整理されることによって、学ぶことの本当の楽しさを知ることになります。もっと知りたい、もっと根本的に理解したいという知的欲求を感じたら、本学の校歌にあるように、「好きなことを好きなだけ」学んで欲しいと思います。

また、本学では、グローバル人材の育成にも力を入れています。海洋に関するあらゆる課題を解決するためには、国境を越えて問題意識を共有し、国籍、人種、ジェンダーに依らず、全ての人が協調し合うことが重要で、それを実行できるのがグローバル人材だからです。その最も新しい取り組みとして、昨年10月に「日・北欧連携 国際協働教育『海洋の未来を創造する高度専門技術者』養成プログラム」、略称「METIS プログラム」を開始しました。このプログラムは 令和6年度の文部科学省「大学の世界展開力強化事業～EU諸国等との 大学間 交流形成支援～」に採択されたもので、2月にキックオフシンポジウムを開催し、デンマークやノルウェーの大学と共に、海洋産業の生産性向上と活性化、海洋を巡る地球規模の諸課題解決に向けた取り組みが開始されたところです。

このような国際的な教育プログラムへの参加を容易にするために、本学では、昨年度から4学期制105分授業を導入しました。4学期制の下では、ギャップタームと呼ばれる必修科目の少ない学期を設定することが可能となり、以前よりも長くなった夏季休業期間を使って、海外留学やインターシップなど、学外における長期間の学修機会を増やすことができるようになりました。将来、地球全体を舞台として活躍したいと考えている人は、履修計画をしっかりと立てて、在学中から積極的に世界に飛び出し、国内では得られない貴重な経験を積んで欲しいと思います。

さらに、本学ではデータサイエンス・AI教育も実施しています。令和元年に「海洋産業 AI プロフ

「エッショナル育成卓越大学院プログラム」をスタートさせたほか、令和4年度に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けました。そして、今年度はその上級の、応用基礎レベルの認定申請を行います。人口減少が確実となっている日本では、数理・データサイエンスやAI技術を使いこなし、多様な価値を創造する人材が必要とされています。コンピュータが好きな人はもちろん、プログラミングに馴染みの少ない人も、自分の専門領域に幅を持たせるという意味合いと、社会に出てからの強みを一つ増やすという意味合いから、積極的に履修することをお勧めします。

一方で、本学では昨年度からアントレプレナーシップ科目を学部と大学院の正規科目として開講しました。アントレプレナーシップとは 起業家精神と訳されていますが、ベンチャー企業を設立するというだけでなく、既存の企業においても 新規事業の立ち上げに必要とされる素養のことも意味しています。皆さんには是非、アントレプレナーとしての素養を身に付け、勉強や研究に取り組んで欲しいと思っています。なぜなら、大学で生み出される研究成果は、学会で論文として発表するだけでは不十分で、社会に実装されて初めて、人々の生活を快適にし、多くの人々を幸福にすることができるからです。別の言い方をすれば、社会的課題を解決するために研究を行い、その成果を人々の生活に応用したり、展開したり、すなわち「社会実装」できれば、高い確率でビジネスチャンスにつながるということです。これからの学生生活において、皆さんが「社会実装」というキーワードを意識して勉強や研究に取り組めば、人々の豊かな未来を創造することにつながって行きます。興味のある人は是非、アントレプレナーシップ科目を履修してみてください。

ところで、大学の正規の授業では得られない情報に触れたり、大学からの学生支援とは違った種々の支援を受けたりすることも可能です。本学には楽水会と海洋会という二つの同窓会組織があり、皆さんのような在学生に対しても、セミナーの開催や海外留学の支援などに加え、進路や就職についても親身になって相談に乗ってくれます。創立22周年を迎える東京海洋大学と、その前身である東京商船大学や東京水産大学を卒業した数多くの先輩たちが、皆さんの学生生活を 実り多いものにするために、いつでも手を差し伸べてくれます。是非、楽水会や海洋会にコンタクトして、海洋大ネットワークの一員となることをお勧めします。

以上、述べて来ましたように、東京海洋大学では多種多様なことを学ぶことができます。今日から始まる本学での学びを通して、皆さんには、成長した未来の自分を思い描きつつ、新しい学生生活を思う存分楽しんで欲しいと思います。

令和7年4月7日

東京海洋大学長 井関俊夫